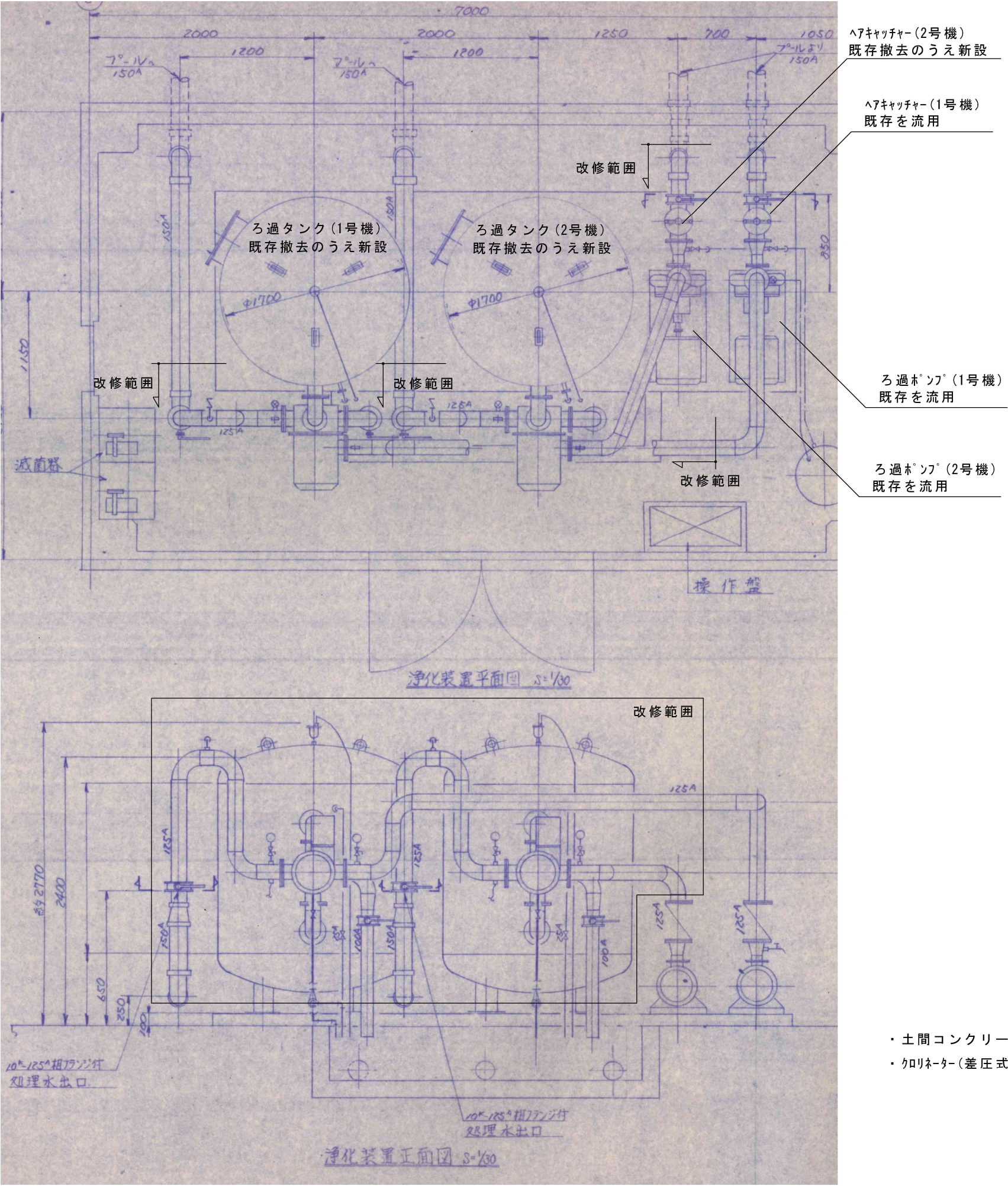
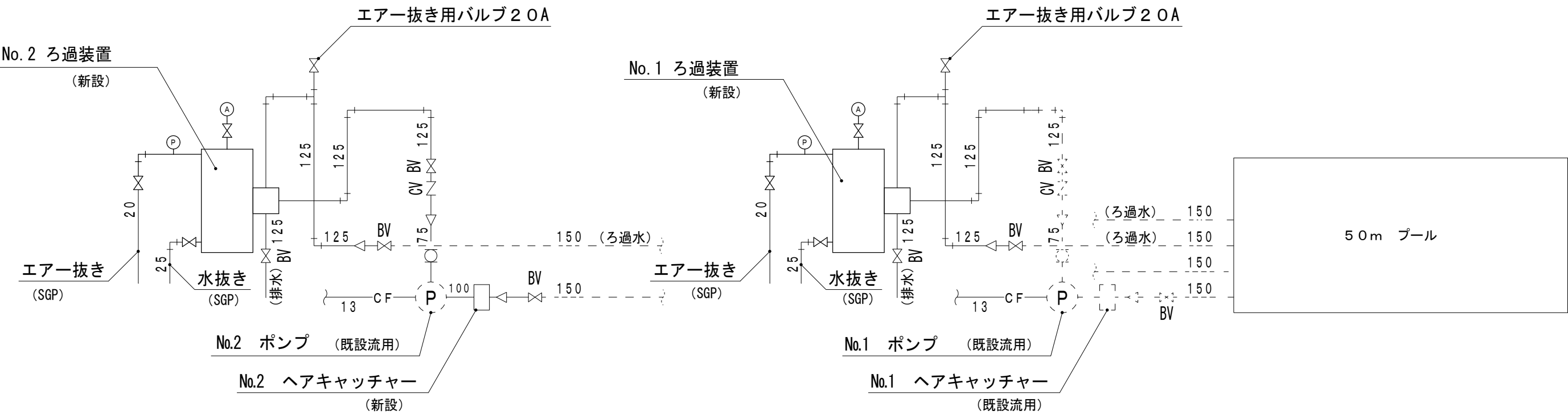


I 工 事 概 要			1章 改修一般共通事項	2. 工事実績情報の登録	3. 工事関係図書	4. 工事現場管理	1章 改修一般共通事項	5. 発生材の処理等	6. 施工条件	7. 事故報告	8. 材料・製品等	9. 化学物質を発生する建築材料等	10. 施工調査	11. 施 工															
1. 工 事 名 称	第一中学校プールろ過装置改修工事																												
2. 工 事 場 所	鳴門市撫養町南浜																												
3. 工 事 種 目	ろ過装置改修工事																												
		I. プールろ過装置新設																											
		ろ過装置 2基新設（周辺配管等の改修含む） ヘアキャッチャー 1基新設																											
		II. 既存ろ過装置撤去																											
		ろ過装置 2基撤去(周辺配管等、処分を含む) ヘアキャッチャー 1基撤去																											
		II 管改修工事仕様書 ○印を採用する																											
章	項 目	特 記 事 項																											
1章 改修一般共通事項	1. 適用基準等	○ 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。 ①公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)(以下「改標仕」という。) ②公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(以下「標仕」という。) ③機械設備工事標準図(令和4年版) ○ 下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。 ○ 設計図書の優先順位は、次の順とする。 (1) 質疑回答書（(2)～(5)に対するもの） (2) 補足説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)等 ○ 本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成9年 建設省告示 第1536号、一部改正 平成15.3.10国交省告示第187号）」に基づき指定された（低振動型・ 低騒音型 ）建設機械を使用するものとする。 現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。 ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。 なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。 ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。 ○ 工事の施工に当たっては、必要に応じて交通整理員を配置すること。 ○ 交通整理員については、警備業法による警備員とする。 ○ 工事を行う上で、撤去・移設を要する軽微な障害物の処理で監督員の認めたものは本工事の範囲とし、それに要する費用は請負業者負担とする。 ○ 本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又は、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいは、これと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス																											

1章 改修一般共通事項	⑫ 技能士の摘要 ⑬ 完成図書等 ⑭ 火災保険	○ 他工事と取り合う区分については、設備機器の位置、取り合い等を検討した施工図を提出して、監督員の承認を得ること。 ○ 図中に示された壁、天井に取り付け仕上げ材、手摺、物品、サイン、家具、その他取付に必要な下地、補強等は図面へ記入の有無に関わらず本工事を含むものとし、請負者の責任において強度等をチェックの上、監督員の承諾を得た上で施工するものとする。なお、当該工事に要する費用は請負業者負担とする。 ○ 鳴門市工事検査規定及び鳴門市工事検査基準に基づき検査を受けること。 ○ 設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を作成し監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。 ○ 試験等によらなければ、確認できない工事（製品）については、試験計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承諾を得ること。 ○ 本工事の施工にあたっては、各工事にかかる当該業種の1級及び2級技能士の有資格者をつとめて活用すること。 ○ 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」によること。 ○ 工事写真は、竣工・着工前・資材・施工状況の順に整理する。 <table><tr><td>区 分</td><td>サ イ ズ</td><td>提出部数</td></tr><tr><td>着 工 前</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td><td>監督員の指示</td></tr><tr><td>工 事 中</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td><td>監督員の指示</td></tr><tr><td>竣 工</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td><td>監督員の指示</td></tr></table> ○ 工事完成撮影は、専門家によらないものとする。 ○ 竣工時、請負業者は、監督員の指示により、C A Dデータ・竣工図・写真データ及び保全の関する説明書等を提出すること。 竣工図は関係図書（原図又はC A Dデータ）を修正して作成すること。 竣工図のサイズ、提出部数は監督員の指示によるものとする。 ○ 本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事を含む。 ○ 請負業者は、火災保険又は建設工事保険に付保するとともに、請負賠償保険にも付保すること。 ○ 対象物 工事目的物及び検査済み材料（支給材料を含む）について付保すること。 ○ 保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には、保険の期間も延期すること。 ○ 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。	区 分	サ イ ズ	提出部数	着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示	工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示	竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示	3章 使用材料	①. 使用材料 <table><tr><td>○</td><td>ろ過器接続配管</td><td>耐衝撃性硬質塩ビ管</td><td>(JIS K 6742) H1VP</td></tr><tr><td></td><td></td><td>配管用炭素鋼鋼管</td><td>(JIS G 3452) SGP</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	○	ろ過器接続配管	耐衝撃性硬質塩ビ管	(JIS K 6742) H1VP			配管用炭素鋼鋼管	(JIS G 3452) SGP																					
		区 分	サ イ ズ	提出部数																																									
着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示																																											
工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示																																											
竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ	監督員の指示																																											
○	ろ過器接続配管	耐衝撃性硬質塩ビ管	(JIS K 6742) H1VP																																										
		配管用炭素鋼鋼管	(JIS G 3452) SGP																																										
2章 管工事	①. 特記事項 ○ 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。 ○ 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。（標仕 〈2〉2.6.3, 〈2〉2.6.3） ○ 床下土中埋設配管についても、吊り又は支持を行い、管の保護のため砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。 ○ 管（排水管を除く）を屋外土中埋設する場合は、管の保護のため砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、地中埋設表示（表示テープ及び埋設標）を行う。（標仕 〈2〉2.7.1, 監理指針 〈2〉2.7.1） ○ ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製（SUS304）とし、屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製（SUS304）又は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 ○ あと施工アンカーボルトは、原則としておねじ形メカニカルアンカー又は樹脂製アンカーとし、屋外に使用するものはステンレス製（SUS304）とする。 ○ 水圧試験、満水試験、気密試験等を配管途中若しくは隠べい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う。（標仕 〈2〉2.9.1） ○ 掘削作業に際して、事前に当該作業範囲内の埋設物、特に電力、通信、ガス及び水道等の埋設経路の調査を行う。 ○ 機材の検査に伴う試験のうち、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。 ○ 試運転調整にあたっては、（監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.3.2）を参考とする。 低圧屋内配線、弱電流電線について、絶縁抵抗測定を行う。																																												



- ・土間コンクリートは全撤去せず補修のみ行う
- ・クロリネーター(差圧式塩素供給システム)とポンプはHIVP13で接続する



- - - - - : 既存のまま を示す
- : 新設 を示す (特記なき箇所の配管はすべてHIVP)
- : 新設ろ過器及び付属部材 を示す

機器仕様表

仕様	数量
プール用手動式ろ過器 砂式 1650φ×1500H程度 処理能力：100m3/H 材質：SS400製 内面塗装：エポキシ樹脂 外面塗装：素地ごしらえ 手動五方弁、圧力計、エア抜バルブ等付属部材含む	2
ヘアキャッチャー 点検窓付き	1

凡 例

記号	名称	数量
∞BV	バタフライ弁(耐塩素用) 150A	3
∞BV	バタフライ弁(耐塩素用) 125A	3
∞CV	チャッキ弁 125A	1
○	球形フレキ 125A	1
P	ポンプ圧力計(100φ、1.0Mpa)	2
	ポンプ連成計(100φ)	2
∞	ゲートバルブ 20A 10K	2
CF	塩ビ製バルブ 13A	2